

令和元年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

1 津山市重点取組

津山市立一宮小学校

津山市重点課題	誰が(Who)	何を(What)	いつまでに(When)	どのように(How)	達成される児童・生徒像(数値目標)
学びのサイクル(津山モデル) ①授業改善と③家庭学習をつなぐ ②つまずき解消	①学力向上担当(授業改善) ②各担任(つまずき解消) ③家庭学習担当(家庭学習)	①全国学力学習状況調査の問題分析から見える授業改善に着いての研修を行う。 ②授業をもとに書くことの指導など苦手分野の指導を継続して行う。(校内で作成ポイントを参考に継続) ③自主学習の参考ノートの提案や児童のノートの掲示の声かけ、授業と自主学習をつなぐ手立てについての研修を行う。	①5月中(実施済み) *8月も実施 ②年間を通して ③1学期中	①全国学力学習状況調査の問題と昨年度までの校内研究をつなげて、県属とこれからの具体的な取組、授業作りの具体に資する研修を行う。 ②校内で作成した系統的な「書くこと」のポイントを各教室に掲示し、年間を通して児童に意識させて定着を図る。 ③毎月見本と成る自主学習を紹介し、どのようにすればいいかモデルを全校で紹介する。	・学力調査の無回答0 ・学力調査の標準スコア50以上
生活習慣の改善 ①スマホ対策と②家庭学習の充実(児童会・生徒会や家庭等)	①外部講師 ②各学年担任	①スマホやメールの使い方について指導 ②情報モラルの指導	①1学期に行う。 ②各学期に1時間以上	①外部講師にビデオや資料を使って話をしてもらう。その後、児童は振り返りを書いて自分の使用方法について振り返る。 ②情報モラルの専用の教材を使用して行う。	・スマホやメールの使い方を理解し、適切な使用ができる。 ・家庭学習実施率校内平均90%

2 全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果及び成果と課題

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】 ・全国学力学習状況調査(6年生) 標準スコア 国語50.2 算数48.0 国語○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の考えをまとめる(短文文問題) 全国平均+6.5 ○漢字の書き(たいしゅう対象) 全国平均+12.1 ●漢字の書き(かんしんー関心) 全国平均-12.6 算数○長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ 全国平均+2.3 ●求め方と考えを記述し、その結果から判断できる 全国平均-8.6</p> <p>・県学力学習状況調査(3~5年生) 国語○物語の内容を読み取る(標準スコア50以上) ○言語についての知識・理解・技能(標準スコア50以上) ○書く能力 全国平均+5(5年) ●条件を満たした短文を書く 全国平均-6.8(4年) 全国平均-3.8(3年) 算数○計算問題(標準スコア50以上) ●時間と時刻、図形分野(面積)が全国平均より4ポイントより下回る</p>	<p>【学習状況調査の結果】 ○自分にはよいところがあると思う、どちらかと言えば思うと答えた割合が95.2%で、県・全国平均と比較して10ポイント以上高い ○先生は、あなたの良いところを認めてくれていて、どちらかといえば思うと答えた割合が県・全国平均よりかなり高い ●家庭での学習時間(1時間以上)の割合が5年69.3%6年49.3%であり、津山市の目標70%に比べて低い。 ●スマホの使用時間(ゲーム、YouTube等)、平日にゲームを2時間以上する児童の割合はゲーム42.3%で、津山市の目標30%以下と比較して12.3%高い ●テレビ等を1時間以上視聴する児童の割合が県平均より4ポイント高い。 ○1日あたり30分以上読書をする児童の割合は、県平均より4ポイント高い。</p>

成果
<p>○経年で見ると、この3年間で学力の向上的変容が見られる。 ○校内研究テーマ「書くこと」に3年間継続して取り組み、書く力が向上してきた。 ○Q-Uの結果分析も学級経営に反映させている。また、落ち着いた学習環境作りにも力を入れており、その成果が表れている。</p>

課題
<p>●「書くこと」については、継続的な取組が必要である。 ●国語は標準スコア50を超えたが、算数については課題が残る。 ●算数は、基礎・活用どちらもバランス良く力を伸ばしていく必要がある。 ●スマホの使用時間、家庭学習の時間はともに課題である。</p>

3 今後の取組

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月現在)	達成度	達成状況(年度末)	達成度	次年度への改善点・重点課題
授業スタイル(自分の考えを記述し、伝え合う授業へ)	11月秋チェックテスト 3月学年末確かめ	全校児童を対象 全職員が取り組む	4月・6月・8月に校内研で授業スタイル、話し合いの仕方、全国学力学習状況調査を元に活用力を付ける授業等を研修 →全クラスで実践					
算数の基礎力をつける 火・木 算数基礎プリント実施	11月秋チェックテスト 3月学年末確かめ	全校児童を対象 全学年・学級で取り組む	2~6年 毎週火・木曜日補充学習(帰りの会の時間を使って算数基礎プリント実施) 5年 夏休み補充学習(実施済) 4年 補充学習(予定)					
国語・算数ともに活用力を付ける	11月秋チェックテスト 3月学年末確かめ	全校児童を対象 全学年・学級で取り組む	5年 月曜日6時間目補充学習(6回・国算活用問題) 1、2年生げんぱプリントを活用(繰り返しで定着) 3~6年生 週末課題(国算活用問題、基礎の補充)					

※達成度 「S:目標を多く上回った(100%超)」 「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」 「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」 「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」 「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」 「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組
<p>・津山モデル学区として歩調をそろえてPDCAサイクルを循環させる</p>

保護者・地域へ理解・協力を求めること
<p>・地域ボランティアに大変お世話になっている。継続して協力をお願いしたい。 ・チャレンジハッピーデーの取組</p>